

科目名	経営組織論	科目分類	■第1グループ □第2グループ	
			経済学科	□必修 ■選択
英文表記	Management and Organization	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	い ち ょ ん み ん	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	李 廷 珉	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	20世紀経営の思想と実践ー組織の発見、人間の発見ー			
授業概要	<p>「19世紀が産業の時代であったとするならば、20世紀はマネジメント（経営）の時代といてよい。」これは世界的に有名な経済誌「フォーチュン」が1966年に発表した記事の一文です。マネジメント（経営）は我々の文明の中心的活動となっています。高い教育を受けた多くの方が経営に従事し、経営の考え方が経済発展の速度や質、行政サービスの効果、国家防衛の強さを決めています。経営のやり方、組織の創り方が我々の社会の将来に影響を与えているのです。ですから、我々は文明人としての自覚や覚悟をもって社会生活を送る必要があるのです。</p> <p>この講義は、組織のなかの人間行動とは一体何か。組織の中の行動と日常の行動との違いは一体何か。違いがあるとすればそれを我々は一体どのように考えるべきか。また、その人間行動の総和としての組織活動は、社会と、一体どのような関係にあるか。</p> <p>この講義は講義の軸にこれらの論点をおき現代文明における人間の組織活動の意義について考えます。</p>			
到達目標	組織のなかの人間行動の理解			
授業時間外の学習	<p>1. 新聞、その他の経済誌、何れかのうち、一つを選び、継続して読んでいく習慣をつけて下さい。</p> <p>2. 暇を見つけては、図書館へ行き情報を収集し、先生方の研究室へ行き議論を仕掛けて下さい。</p>			
履修条件	現代経済入門、日本経済論、経営学基礎論、経営管理論、経営戦略論を受講することが望ましい。			
授業計画				
第1回	経営組織の重要性と意義			
第2回	経営組織思想の発展			
第3回	経営組織の展開			
第4回	ホーソン実験			
第5回	フォーマル組織とインフォーマル・グループ			
第6回	人間関係論の発展			
第7回	行動科学への吸収・発展・限界			
第8回	行動科学から組織行動論への契機			
第9回	組織行動論の展開・課題			
第10回	組織を取り巻く環境の激変			
第11回	組織と環境の対立と共生			
第12回	リーダーシップ			
第13回	動機づけについての主な所論			
第14回	動機づけについての具体的方法			
第15回	有力企業の盛衰と構造改革			
第16回	定期試験			
テキスト	講義資料（パワーポイント資料）を配布する			
参考文献・資料	田尾雅夫『よくわかる組織論』ミネルヴァ書房、2013年。			
成績評価の方法	【平常点（25%）、レポート（25%）、定期試験（50%）】			

成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	毎週火曜日 13:00~14:30
学生へのメッセージ	経営は組織体においてその運営や管理のために必ず必要な考え方です。この講義は社会における企業・組織の問題、その中で働く人間の問題に関心があり、知りたいと思っている人を対象としています。